

THE 100 PIANISTS PROFILE

～シリーズ最終年を飾る 豪華多彩なラインナップ～



91/100 アリス=紗良・オット Alice Sara Ott

1988年ドイツ人と日本人の両親のもと、ミュンヘンに生まれる。95年ドイツ連邦青少年音楽コンクール優勝を皮切りに、97年スタインウェイ国際、98年イタリア・リゲティ国際、99年ハンブルク音楽ホール、2000年グロートリアン・シュタインヴェーク国際、01年及び02年ミュンヘン・カール・ラング、03年リンダウ・ロータリー・ヤング・ミュージックの各コンクールで全て第1位受賞。03年にはケーテン・バッハ・コンクールで第1位と市長特別賞も獲得。現在、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学でカール=ハインツ・ケマリンク氏に師事。



92/100 ホワン・チューフアン Huang Chu-Fang

7歳でピアノを始め、12歳で中国の瀋陽音楽学院プレカレッジ・ディヴィジョンに最年少で奨学金全額を得て入学。15歳でアメリカに移住。第12回ヴァン・クライバーン国際コンクールでファイナリストに選ばれ、その2ヵ月後には2005年クリーヴランド国際コンクールで優勝するなど、数々のコンクールで優勝・入賞を果たしている。祖国中国はもとより、ヨーロッパやアメリカにおいても幅広い演奏活動を行っている。カーティス音楽院でクロード・フランク氏に師事。現在ジュリアード音楽院修士課程に在籍しロバート・マクドナルド氏のもとで研鑽を積んでいる。



93/100 ケマル・ゲキチ Kemal Gekic

1981年リスト国際ピアノコンクール第2位。85年のショパンコンクールでは、優勝候補とされながら審査員の意見が分かれたため本選に残れなかったが、聴衆から圧倒的な支持を受け話題となった。ヨーロッパ、日本、カナダ、ソビエト、中東における広範囲にわたる活動の他、レコーディングも活発に行い、「超絶技巧練習曲集」のCDではリストの第一人者として不動の地位を得た。99年のユーゴ紛争後、フロリダ在住、フロリダ州立大学の教授も務める。2001年以降毎年来日し、圧倒的なスケールの演奏で聴衆を魅了しつづけている。



94/100 北村朋幹 Tomoki Kitamura

1991年生まれ。現在名古屋市立桜丘中学校在学。3才からヤマハ音楽教室に学び、2004年よりヤマハマスタークラスに在籍。江口文子、丹羽幸の各氏に師事。04年第9回エトリンゲン国際青少年ピアノコンクール(ドイツ)カテゴリーA(15才以下)第5位。05年第10回浜松国際ピアノアカデミーに参加し、同コンクールで第4位受賞。同年第3回東京音楽コンクール第1位・審査員大賞を受賞。これまでに英国王立音楽院デュークスホール(イギリス)、オーチャードホールなどにおけるコンサートに出演。また、04年以降たびたびテレビ朝日系「題名のない音楽会21」に出演している。



95/100 アンティ・シーララ Antti Siirala

1979年ヘルシンキの音楽一家に生まれる。7歳でオーケストラと初共演し、フィンランドの数多くの音楽コンクールで入賞。近年、シベリウス・アカデミーでマッティ・ラエカリオ、イヴァリ・イルヤの各氏に師事。97年第10回ウィーン・ベートーヴェン国際コンクールで最年少第1位、2003年にはAXAダブリン国際コンクール、リーズ国際コンクールでいずれも優勝し一躍注目を集めた。ヨーロッパの主要音楽都市でソリストとして著名な指揮者と共演、多くの音楽祭にも出演。またイギリス室内管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団、フィンランド放送交響楽団などにも客演している。



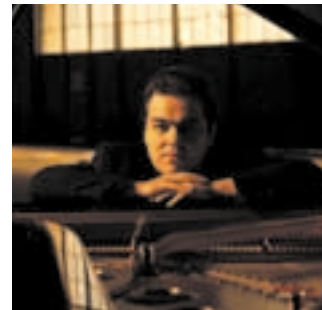
96/100 シプリアン・カツァリス Cyprien Katsaris

1951年マルセイユ生まれ。4歳からピアノを学ぶ。パリ・コンセルヴァトワールを首席で卒業。70年チャイコフスキー国際、72年エリーザベト国際各コンクール入賞、74年シフラ国際コンクール優勝。音楽院在学中から天才の誉れ高く、66年シャンゼリゼ劇場の公式デビュー以来、稀代のテクニシャンとして世界的に活躍。オーマンディ、バーンスタイン、ラトル、ベルリン・フィル、コンセルトヘボウ管等世界一流のアーティストと共演。録音も数多く、グラミー賞他多数受賞。2000年フランス政府叙勲、01年パリ市バーミル・メダル受賞。ユネスコ平和アーティスト。



97/100 キム・デジン Kim Daejin

1985年第6回ロベルト・カサドシュ(現クリーヴランド)国際ピアノコンクール優勝。86年ニューヨーク・デビュー。87年クリーヴランド管との共演を皮切りに、国際的ソリストとして活躍。ジュリアード音楽院にて、マーティン・キャンン氏の指導のもと学士・修士・博士号を修得。現在韓国国立芸術大学教授として国際コンクールで入賞者を数多く輩出、優れた指導者としても高く評価されている。また国際コンクール審査員としても活躍。2002年韓国音楽協会より「ミュージシャン・オブ・ザ・イヤー」に選ばれ、韓国東亜日報より「韓国で最も有名なピアニスト」の称号を受ける。



98/100 アルカディ・ヴォロドス Arcadi Volodos

1972年サンクト・ペテルブルク生まれ。サンクト・ペテルブルク音楽院で声楽と指揮法を学んだ後、87年ようやく本格的なピアノの専門教育を受け始めた。ガリーナ・エギアザローワ、ジャック・ルヴィエ、ディミートリ・バシュキーロフの各氏に師事。96年ニューヨーク・デビューを皮切りに世界的な活動をスタート。世界の主要なオーケストラ、著名な指揮者との共演、リサイタルなどで絶賛された。2002年のザルツブルク音楽祭デビューは鮮烈で、以後毎夏のザルツブルクに欠かせない存在となった。CDもいずれも評価が高く、天才の呼び声をほしいままに活躍を続けている。



99/100 レイフ・オヴェ・アンズネス Leif Ove Andsnes

1970年ノルウェーのカルメイ生まれ。ベルゲン音楽院でチェコ出身のイルジー・フリンカ氏に師事。90年代初めに世界の楽壇にデビューして以降、一流オーケストラ・指揮者との共演、リサイタル、室内楽にも取り組み、揺るぎない演奏活動を通じて聴衆の共感と興奮を呼び起こしている。リソール音楽祭の共同芸術監督として世界的なアーティストをノルウェーに招く一方、自身もヨーロッパ各地の音楽祭の常連である。レコーディングも数多く、3度のグラモフォン・アワード受賞歴を持つ。2002年ノルウェーで最高の榮譽とされる聖オラフ・ロイヤル・ノルウェー上級勲章を受ける。

THE 100 PIANISTS LAST CONCERT



100/100 第6回 浜松国際ピアノコンクール最高位受賞者

Winner of the 6th Hamamatsu International Piano Competition

浜松国際ピアノコンクールは、浜松市が市制施行80周年を記念して1991年に発足以来3年ごとに開催されている。98年国際音楽コンクール世界連盟に加盟。第3回からは中村紘子が審査委員長を務める。これまでに、アレッシオ・バックス(97年第1位)、アレクサンダー・ガヴリリュク(2000年第1位)、上原彩子(00年第2位)、イム・ドンヒョク(00年第2位)など、若手ピアニストを次々に輩出。また03年第5回で最高位を分かち合ったアレクサンダー・コブリンとラファウ・ブレハッチは、05年ヴァン・クライバーン国際コンクール、ショパン国際コンクールでそれぞれ優勝した。